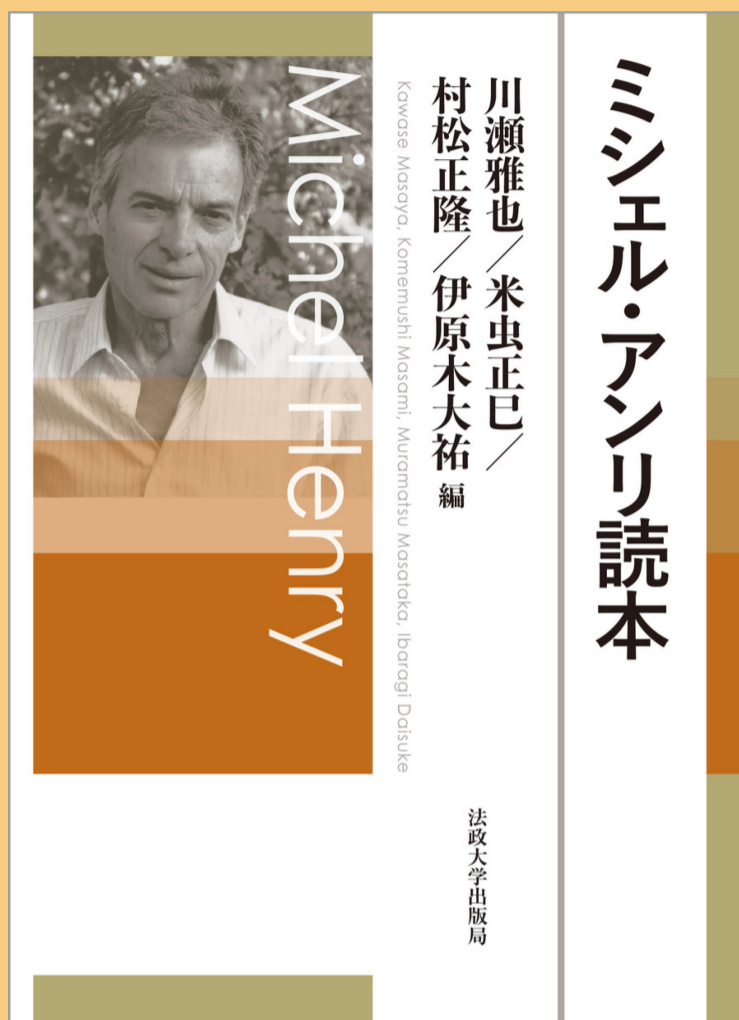


プラス1ピースの読書会

～あなたの読書体験に一片のいろどりを～

Vol. 16

『ミシェル・アンリ読本』



ミシェル・アンリの全体像を描く

20世紀後半のフランス思想に大きな足跡を残したミシェル・アンリの生誕100年、没後20年を記念する書物。日本ミシェル・アンリ哲学会の研究者が中心メンバーとなり、総勢34名もの執筆者がアンリを多面的にかつ客観的に論じた意欲作です。

編者の一人である村松先生は、アンリの思想は「あらゆる生を肯定し、生きることを祝福する」と話しています。本書は、こうした思想を唱えたアンリの生涯と思想の概要、その哲学の主要テーマ、多くの現代思想家との関わりのほか、小説家としてのアンリについても論じています。いわば、ミシェル・アンリの全体像を知るための格好の入門書です。

コロナ禍の中、執筆者が直接顔を合わせることができない中で企画、出版されたこの書物の、製作時のエピソードや出版後の反響についてお話しいただきます。

「アンリ受容と理解が進まない最大の理由は、これまで一般読者や初学者でも手にとりやすい入門書・手引書がなかったことだと思われる。(中略)それがいよいよ登場した。」(神谷英二) ~『図書新聞』より

web 書香の森紹介ページ



村松正隆教授の著作紹介



日時：2023年10月24日(火)

12:20 ~ 12:45 12:45以降5分程度Q&Aタイムあり

場所：北海道大学文学研究院「書香の森」
(玄関ホール横)

著者・おはなし：村松正隆教授
(哲学倫理学研究室)

お問い合わせ先：
北大 文学研究院 研究推進室
Tel: 011-706-4083

詳しい内容：
文学研究院ウェブサイト イベント情報
<https://www.let.hokudai.ac.jp/>

主催：北海道大学 大学院文学研究院

今回のプラス1ピースは？



アフターコロナの
今だからこそ
考えてみる

